

A-press

2001.9.17

広報 あそう vol.562



たくさん獲れるといいネ（行方小児童の稲刈り）

地域社会みんなの協力で



規律訓練「麻生町消防団503名集合しました」

町消防団による防災訓練

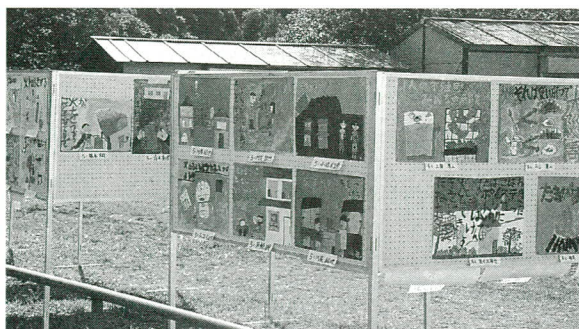


放水開始

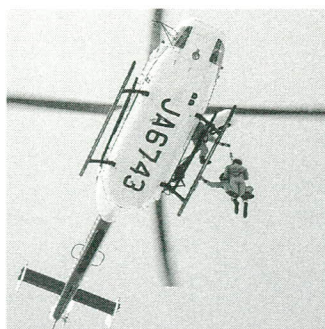
防災の日の9月1日に、町消防団による「防災訓練」が行方小学校においておこなわれました。訓練では、『南関東を震源とする直下型の大地震が発生、震度6の烈震を記録し、建物が倒壊、多数の負傷者が発生、行方小学校では、地震直後に火災が発生し上階へ延焼が拡大、児童は教職員の誘導により避難しましたが、確認に残った教職員が逃げ遅れ、屋上で救助を待っている』という想定で実施されました。

消防署・消防団はもとより、地元の自主防災組織・地域防災協力員により情報収集、負傷者の誘導、応急手当、初期消火訓練、救護訓練、消火訓練などが行われました。

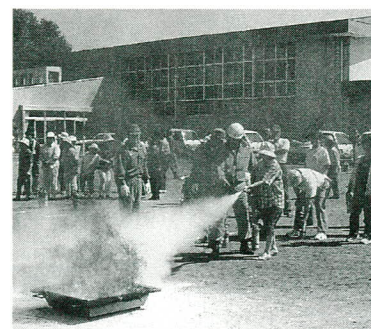
また、県防災航空隊により、防災ヘリコプターを使って調査訓練や救助訓練が行われました。参加した人たちは、火事の恐ろしさや初期消火の重要性を改めて認識しました。



行方小児童の防災ポスターの展示



防災ヘリコプターでの救助訓練



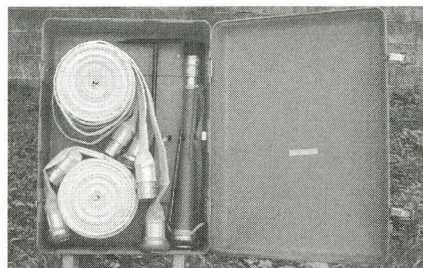
消火器訓練

火災を防ぎましょう

初期消火に消火栓が大きな役割を果たしています

町内には、消火栓が約500基設置され、そのうち約9割は格納箱が近くにあります。火災を発見した人が消防署に通報したあと、近くの人たちと協力し、消火栓を使って初期消火を行い、大きな火災になるのを防いだ例はたくさんあります。詳しい消火栓の使い方は地元消防団の指導を受けて下さい。

ここでは消火栓の使い方を簡単に説明します。



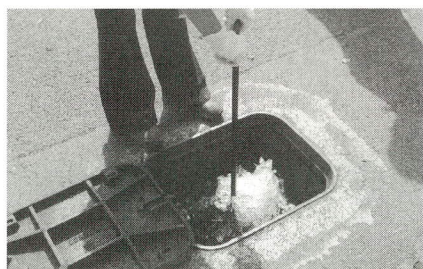
① 格納箱にはホース・筒先・大箱回しが入っています



② 大箱回しのボール状の先を差込み消火栓のふたをゆるめます



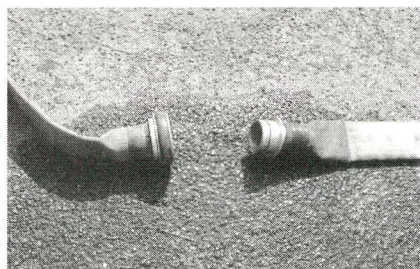
③ 消火栓ののっぺ部分を引き上げふたを開けます
(手足を挟まないように注意)



④ 大箱回しを使って水が出るかを確認します



⑤ 一旦水を止めホースを延長します



⑥ ホースにはオス金具(右)とメス金具(左)があります



⑦ ホース先端のメス金具を消火栓に接続します



⑧ ホースの先端(オス金具)に筒先を接続します



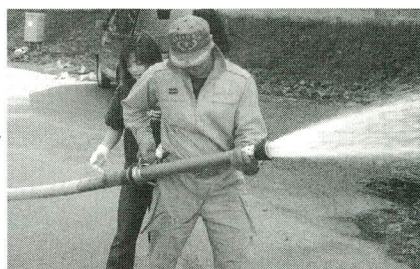
⑨ 筒先を2人でしっかり持ち水が送られてくるのを待ちます



⑩ 筒先を確認し、ゆっくりと大箱回しで栓を開きます



⑪ 火元に向け放水します
水の出方をノズルで調節します



⑫ 消防署・消防団が到着したら速やかに筒先を交代します

100歳 2名 おめでとうございます 米寿 58名

敬老の日を前にした9月13日と14日の両日、今年度中に米寿を迎えられる58名、100歳を迎えられる2名の方々を町長が表敬訪問しました。米寿達成者には記念品として毛布が、100歳達成者には10万円が町から贈られました。

☆100歳達成者（敬称略、氏名は新字）

麻生／羽生ふみ、籠田／久保田あさ

☆米寿達成者（敬称略、氏名は新字）

富田／関正次、高崎勝司、市原しを、山口みつ、麻生／茂木かつい、永作與市、藤野トヨ、北沢ミツ、横瀬しけ、田崎さだ、立原よう、藤井芳雄、市村モト、茂木米、大木ハル、吉田義輔、吉田マサ、大森勝、矢幡／切島忠勇、小島房子、小島ふち、石神／菊地くに、下河辺まさ、大盛豊、山野けさ、山野末吉、堀越謹之助、根小屋／大川みさ、蔵川／大槻末吉、白浜／椎木てい、塚本茂男、今泉まつ、青沼／羽生アキ、新堀とよ、高桑定吉、四鹿／金田よね、金田マツ、菅谷恒雄、久保田わくり、小牧／宮崎修三、新宮／下河辺政代、平塚チイ、天掛／方波見あき、宮内徳雄、菅井幹夫、於下／石橋とく、千ヶ崎こう、戸島キヨ、船子／根本ヤス、島並／高栖伊左衛門、南／土子なつ、箕輪きみ、小高／茂木つき、助川よね、坂本ヨシ、橋門／畑木昇、井貝／鈴木ツル、河嶋ハル

皆さん、いつまでもお元気で！

老人医療についてお知らせします

70歳（一定の障害のある人は65歳）をむかえたみなさんの医療は、これまで加入していた医療保険の資格はそのまま、老人保健制度による医療を受けることになります。

◆老人保健医療のうけ方

①健康手帳、医療受給者証と保険証を病院、診療所の窓口へ提示します



②診療を受けます



③一部負担金を支払います

外来受診

医療費の1割を負担
1ヶ月の負担上限は3,000円
＊ベッド200床以上の大病院は5,000円
＊定額制の診療所は1回800円
月に4回を限度に自己負担

入院

医療費の1割を負担
1ヶ月の負担上限は37,200円
＊住民非課税世帯のお年寄りの負担上限は24,600円
住民税非課税世帯で老齢福祉年金受給者の負担上限は15,000円

◆入院中の食事代は、一部を患者が負担します

一般 1日 780円

住民税非課税世帯のお年寄り

90日以下の入院 1日 650円
90日を越えた入院 1日 500円

住民税非課税世帯の老齢福祉年金受給者

1日 300円

注 意

住民税非課税世帯のお年寄りが入院したとき、入院時負担限度額の特例措置及び入院時の食事代の減額を受けるためには「入院時一部負担金限度額適用・標準負担額減額認定証」が必要となります。必ず申請手続きを行ってください。

■ 問合先 保健福祉課 ☎72-0811（内線112）

ふるさとめぐり21



本城薬師堂（麻生）

麻生の城下川にかかる水門橋近くに朱ぬりの薬師堂があります。

羽黒城は、天正4年（1576年）10月、島崎城主安重と島崎氏の要請を受けた浮島城主弾正によって落城しました。このお堂は、羽黒山城主麻生三郎常安の正室が亡夫と娘（千恵姫）、そして戦死した家臣たちの霊を弔うために建立したものです。

羽黒城物語

樟の大樹が天空にそびえ湖上からの風韻を奏でていました。その洞穴には竜神がすみつき、ときに霧をよび、霞をたなびかせては一面を暗黒にしたといひます。

ここ羽黒山は、麻生三郎常安の居城でした。千恵姫は、この城内で父常安の愛を一身に受け、18歳を迎えた日々を幸せに暮らしていました。

時は戦国時代の末期です。羽黒城の東南に島崎城があり、城主は三郎常安の義兄島崎左衛門尉安重です。左衛門尉は、麻生の里を支配下に治めようと考えていましたが、一方では麻生氏からの侵略も深くおそれていました。そのため常に先制攻撃の機をうかがい、策をめぐらせていたのです。

「彼の名木もつらつら易学に照らして占うときは、陽気を奪い邪気を培い、世嗣に害を及ぼし遂にはこの名城をして滅亡に導くものなり。」

ある日、左衛門尉は自らが送り込んだ医師を使って、常安にこう進言させました。魔性を持つと言われるこの老樟樹が城攻略上最も目障りであると考えていたからです。策は功を奏しました。城安はこの進言を迷信し、ついに名木を切り倒してしまったのです。

左衛門尉は「しめた」と喜びました。羽黒城攻めの機が到来したのです。すでに浮島弾正と同盟し、海陸からの羽黒城攻略準備を完了していた左衛門尉はこの時とばかり、兵を挙げ攻撃を開始しました。弾正もまた、軍船数十隻をもって湖岸に上陸し、羽黒城めざして進軍しました。

まどかな夢を破られた羽黒城内は混乱し、やっと警鐘に目覚めた城兵は二手に分かれて応戦しなければなりません。常安はといえば、先祖伝来の緋色のよろい、竜頭のかぶとに身を固め、角のある名馬にまたがり、馬上大いに奮戦しました。

しかし、結果は不意を撃たれた麻生氏の惨敗でした。また、愛馬もろとも重傷を負った常安の最期は、城の西方新池あたりであったと伝えられています。

そのころ千恵姫は、白装束にたすきを綾取り白はちまき姿に身を固め、愛馬にむち打ち疾走していました。しかし、夜更けの闇のこと、行く道を誤り深い沢に乗り入れてしまいました。身動きがとれなくなった千恵姫は、常安の娘として「このまま敵の手に掛かる事あらば、悔ゆるも及ばず。」と、無念の思いで覚悟を定めました。そして、残る力を振り絞り、辛うじて沢からはい上がると傍らの井戸に身を投じてしまいました。18歳、あまりにも悲しい最期です。またそれは、400年近く連綿と営まれた麻生氏の滅亡の時となったのです。

戦は終わり、千恵姫の亡骸は里の人々によって手厚く葬られ、墓標に松樹が植えられました。また、脱出し道知院に潜んで事なきを得た常安の妻は、その戦死者を敵味方の別無く埋葬し、墓標として薬師堂を建立しました。

今もなお、麻生氏、羽黒城の悲しい物語として地元の人々の間に語り継がれています。

『羽黒城懐古録』より

麻生の先人たち

当時のワカサギは肥料が主でした

霞ヶ浦沿岸の漁民は、昔からの半農半漁で、加工業の発展以前は収穫もとばしく、ただ沿岸周辺の人たちに供給していたものでした。また、漁民は、魚の多くを肥料として使っていた時代もあり、今日のように価値あるものになり得た最大の理由は、加工業の発展にあったといえるでしょう。

加工業の起源は、旧幕封建制度の崩壊期に、福島、栃木両県の商人資本の手によって加工技術が移入され、市場の展開がすすめられたことにあるといわれています。

古い文献を見ると

『公魚^{わかさぎ}は往時にあってはそのまま食用に供するはかは、すべて生魚のまま肥料として販売するにすぎなかった。だから、素ぼしのように自然にこれを日干しして保存する方法をとるようになったことも推察できるが、古老の話によれば、慶応年間(1865~1868)茂右衛門という福島の人がきて、公魚を買い集めて自分の郷里におくらんがため、沿岸の漁業者に乾燥することを伝えたことにより、今日のように一つの物産として通用することになったというのだ。今日、福島県地方に出荷が多いのは、その辺に原因があるからではなかろうか』

この記録のように、これを機に漁業の発展が開始されたとしても間違いではないでしょう。そして、ワカサギなどの煮干し類が主として新治郡下で製造されたのに対して『ゴロ(はぜ類)は、明治7年行方郡麻生町に住む奥村某、東京よりつくだ煮の法を伝え、みずから先頭に立って、その製造に従事したが、明治10年頃には、東京・佃島の人、細川久右衛門ほか数人が麻生町にきて、その製造に従事した。沿岸民もまた、そのつくだ煮が有利であることを知るようになり、次々と各地に伝わって、ついに多数の製造者をだし、一つの物産として通用するようになった。』とあります。このように、新治郡を中心とする煮干し類と、麻生町を中心とするつくだ煮類とは、商品市場の展開にともなって、今日の発展をみたのです。

つくだ煮の創業者 奥村吉郎兵衛



粗毛の合同庁舎の近くに上羽神社があります。この境内の一角につくだ煮の創業者奥村吉郎兵衛翁の碑が建っています。

吉郎兵衛は天保6年(1836年)粗毛村に生まれ、江戸・佃島へでて、江戸時代初期にはじまったといわれるつくだ煮の世界に飛び込んでこれを会得、39歳で郷里にもどり、霞ヶ浦名産の小魚につくだ煮法を応用しました。

当初は、人々の口に合わず、あれこれ工夫をこらすうち、ついには衣類まで売り払って資産を傾けたこともありましたが、醤油、あめなどの調味料を整え、専心工夫を凝らしてようやくその製法を自得したのがつくだ煮となって世に出ました。そして、嗜好者を増やしました。

折柄、明治10年(1877年)西南の役が起こり、時の政府当局では食膳の腐敗に手こずっていましたが、このつくだ煮だけは梅干し同様腐敗せず大いに賞賛されました。由来国内の戦争では副食として梅干しか香の物かで、これには脂肪もタンパクも何もない塩辛いだけのものでしたが、以後、戦時副食として喜ばれ、タンパク源として尊ばれました。

それからというもの、これがきっかけとなり霞ヶ浦・北浦沿岸にはつくだ煮業者の開業があい次ぎ、水郷の一大産業となるにいたったのです。また、明治27年(1894年)に日清戦争が始まるや、軍需食糧として朝鮮、清国、台湾などに送られ、祖国の味を提供するとともに、かつ業者には多大の利益をもたらしました。

同翁は明治33年(1900年)同地に没、粗毛の上羽神社境内に顕彰碑が建立されました。

ミナサン、コンニチハ！ ヨロシクオネガイシマス

ALT（外国語指導助手）派遣事業により、新しい先生がやってきました。前任のジェイソン・チョンさんの後を受けて、サラ・ランスダウンさんが9月から中学校の教壇に立ちます。サラさんは、日本に留学していたので、日本語が堪能です。



サラ・ランスダウン先生

サラ・ランスダウン先生のプロフィール

- ★1977年10月19日生（23歳）
- ★国籍 アメリカ合衆国（テネシー州）
- ★趣味 ジョキング、料理（韓国料理、シーフード、パン、ケーキ）
- ★専攻 日本語、日本の美術（東山魁偉）
- ★好物 米、豆腐、野菜、梨
- ★日本で行きたい場所 札幌雪祭り、京都
- ★麻生町のイメージ 緑豊かで田舎風景がいい
- ★抱負 たくさん友達をつくりたい
早く土地になれて、霞ヶ浦周辺をジョギングしたい

町で見かけたら気軽に声をかけてください。

生産調整の見直しを提言 ～ 鹿行地域県民の声を聞く会～



生産調整見直しを提言した大川さん（右側）

このほど茨城県が主催する「県民の声を聞く会」が、宇崎のレイクエコーで開催されました。これ

は、茨城県議会議員のみなさんが県民の声を聞き、県議会の活動をとおして茨城県の施策に反映していこうというものです。

当日は、県議会から鬼沢議長をはじめ各常任委員会の代表、また地元選出の議員ら10名が出席しました。

また、横山町長が開催地の町長としてあいさつし、北浦大橋周辺の道路整備などを要望しました。

麻生町からは、大川實さん（小牧）が提言者として出席し、稲作農家として、「生産調整の見直しについて」提言をしました。大川さんは、「認定農業者が農地を集約し経営を安定しようとしても、生産調整が弊害になっています。調整面積の配分などを検討してほしい。」と提言しました。大川さんの提言には、県議会議員のみなさんから賛同する声が寄せられていました。

「環境教育と市町村の役割」 について講演会が開催

霞ヶ浦周辺の39市町村で構成されている霞ヶ浦問題協議会（会長：助川弘之土浦市長）が、このほど国民宿舎白帆荘において、茨城大学教授の大嶋和雄先生を招き講演会を開催しました。

講演の中で、地球温暖化の人への影響について、

新聞やテレビで報道されている内容に対する否定的な説明がありました。「地球温暖化で北極の氷が溶けても、水位は上昇するどころか水と氷の比重の割合で、逆に減少します。南極の氷は300万年かかってできたもので-40℃です。この氷が溶けるはずがありません。」集まった人たちは疑問な表情を浮かべながらも楽しく聞き入っていました。

人と自然未来を結ぶ下水道

◆下水道の役割

美しい自然…川や海、湖の水がよみがえります
汚れた水は、きれいにしてから流すため、川や海、湖の水を汚さず、美しい自然が守られます。

快適な生活…水洗トイレの使用ができます
清潔で快適な水洗トイレが使えるようになり、悪臭のない、さわやかな生活ができます。

きれいな街…くらしの環境がよくなります
きたないドブなどがなくなり、街がきれいになり、ハエ・蚊の発生が少なくなります。

◆麻生町の下水道

麻生町の下水道は、昭和49年から計画が策定され、平成3年から工事が始まりました。麻生町のほか潮来市（旧牛堀町・旧潮来町）との1市1町で広域的に汚れた水を処理する方法をとっています。この下水道の名称は「霞ヶ浦水郷流域下水道」といいます。工事も順調に進み、平成9年9月から一部の地域では下水道が使えるようになり、工事の進行とともに年々使える区域が拡大されています。

各家庭から出た汚れた水は、排水設備から公共汚水桝を通して下水管に流れ、麻生町と潮来市（旧牛堀町）との境にあるポンプ場（境中継ポンプ場）に集められます。ポンプ場では地下深く流れてきた汚れた水を処理場へ送るために、ポンプにて汲み上げます。そこから再び下水管を通じて流れ、潮来市日の出にある下水処理場（潮来浄化センター）まで運ばれます。処理場では、潮来市と麻生町の汚れた水が一括して集まり、バクテリアや微生物を利用してきれいで安全な水に戻して、常陸利根川（霞ヶ浦）に放流しています。

◆これまでの実績・今後の計画

◆全体計画面積 366ha

全体計画人口 5,400人

◆認可区域面積 169ha

認可区域人口 3,223人

（認可区域とは、国から平成17年度までに整備を認可されている区域をいいます）

◆平成13年度（H13.4.1）供用面積

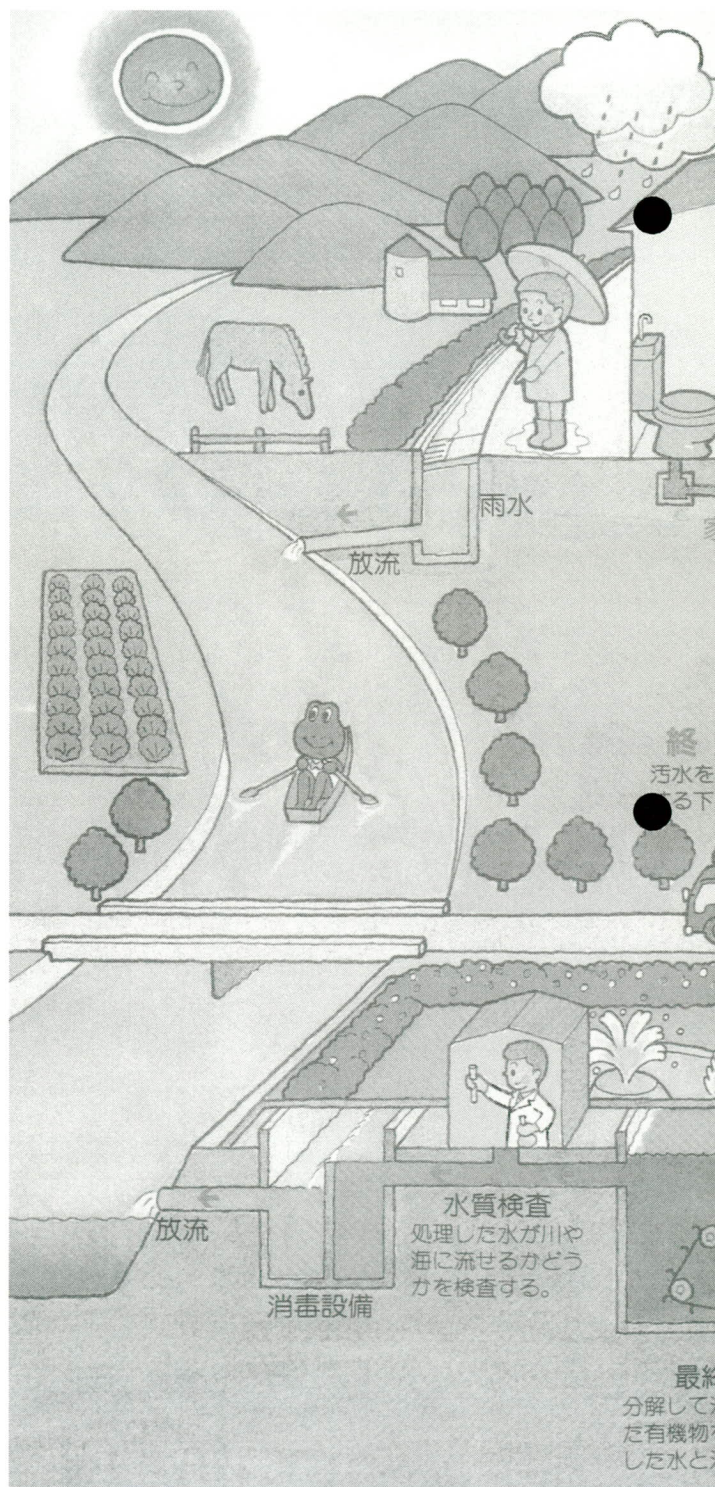
13.3ha（累計 77.6ha、45.9％）

区域人口 363人（累計1,940人、60.2％）

平成13年7月末接続人口 775人（24.0％）

◆平成14年度供用開始予定面積

16ha（累計 93.6ha、55.4％）



◆下水道を利用するには

各家庭で、汚れた水を直接下水道へ流すための「排水設備工事」を町指定の工事店で行っていただき、工事完了後使用開始となります。

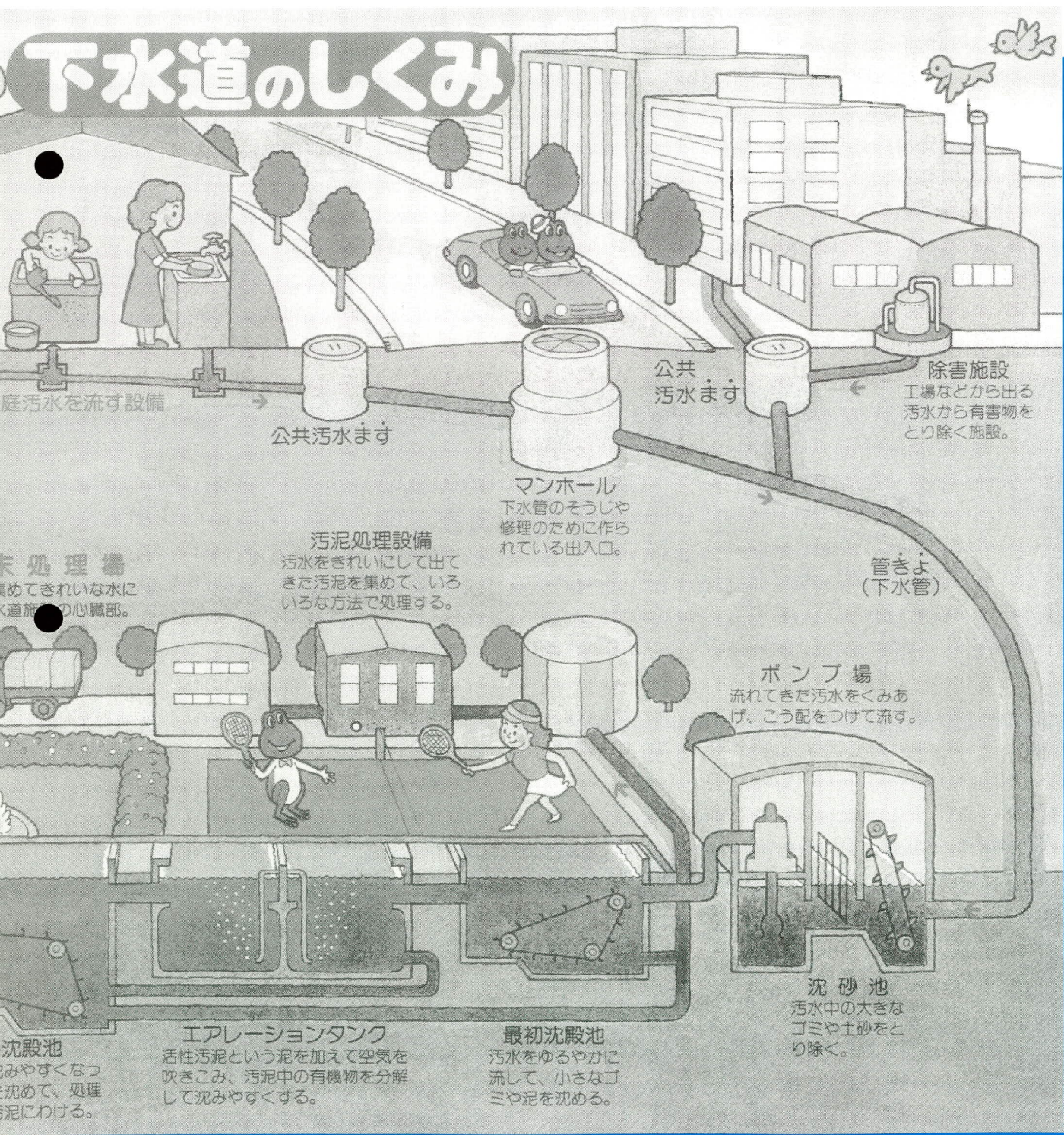
下水道使用可能区域になりましたら、下水道法により3年以内に「汲み取り便所」を下水道に直結した「水洗トイレ」に改造してください。なお、浄化槽を使用している場合も、その使用をやめて、下水道に直接流す工事を行ってください。

3年以内にトイレの水洗化のための改造工事を

行う方は、3万円の補助金が受けられます。また、一度に負担がかからないよう融資のあっ旋（30万円まで）と利子補給を行っています。いずれも条件がありますので、詳しいことは役場下水道課または町指定の工事店に相談してください。

より多くの方が下水道を利用し、きれいな自然環境や居住環境、明るい未来をみんなで作っていきましょう。

■ 問合先 下水道課 ☎72-0811（内線325・326）



流しそうめんで交流

田町地区の老人会（坂本貢会長）が、地区の子どもたちに呼びかけ、このほど、お年寄りと子どもたちの流しそうめんの交流会が行われました。

地区のお年寄りや育成会約30人の協力で、今年が2回目となります。みんな慣れた手つきで、長さ10mの竹を割り、組んで流しそうめんの台を作りました。

時おり雷鳴が響く中でしたが、子どもたちは大はしゃぎで、流れてくるそうめんを真剣にすくっていました。また、お年寄りたちも『地域づくりの一環として、子どもたちとの交流を毎年恒例にしたい。』と満面の笑顔でした。



真剣にそうめんをすくう子どもたち



青年団による笠踊り

天掛で演芸会

天掛の道路沿いに、本尊11面観世音菩薩を祀る法光院観音寺があります。今年も、8月17日に恒例の演芸会や花火大会が行われました。

7時から観音様の境内では、地元の役員さんや青年団が中心となって演芸会が行われ、夜遅くまで踊りやカラオケで賑わっていました。

7時半からは、北浦堤防から花火が打ち上げられ、訪れていた観客から歓声があがりました。この日は、湖岸から強い風が吹いていたので、打ち上げが心配されましたが、地元消防団の監視のもと盛大に行われました。

行方サッカースポーツ少年団が10周年

行方サッカースポーツ少年団（大嶋衛団長）が創部10周年を迎え、このほど行方小学校でサッカーの交流試合やバーベキューが行われました。開会式では、大嶋さんと母集団団長の大橋源一さんが、「Jリーグの1年前に発足し、よくここまでみんな頑張ってきたと思う。15周年・20周年を目標に、これからもみんなで楽しくやっていきましょう。」とあいさつしました。

そのあと、少年団・OB・父兄によるサッカーの交流試合が行われ、残暑でしたが、みんなさわやかな汗を流しました。

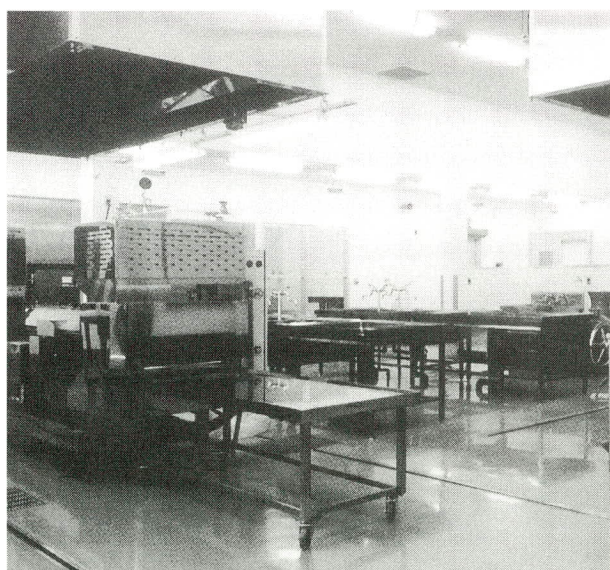
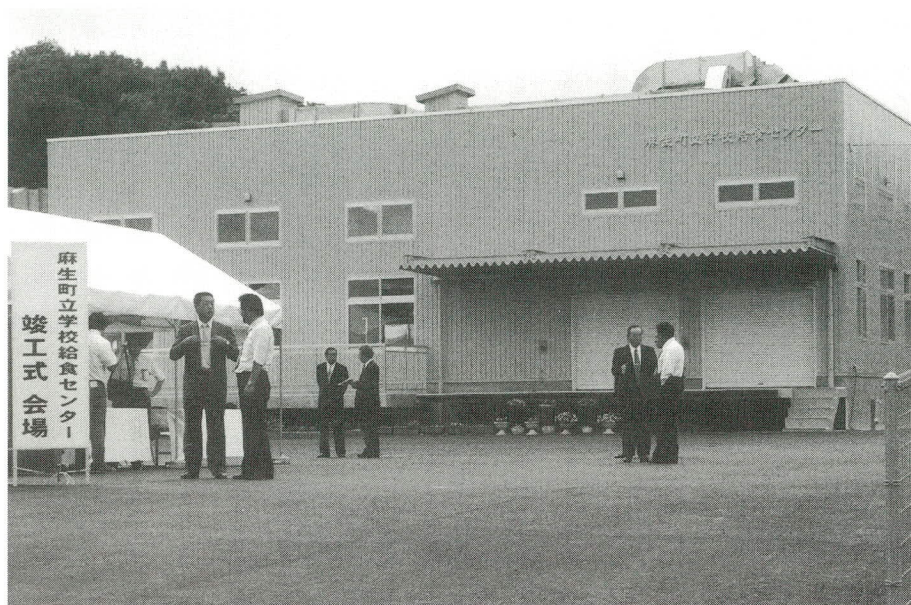


サッカーの試合では好プレーが続出

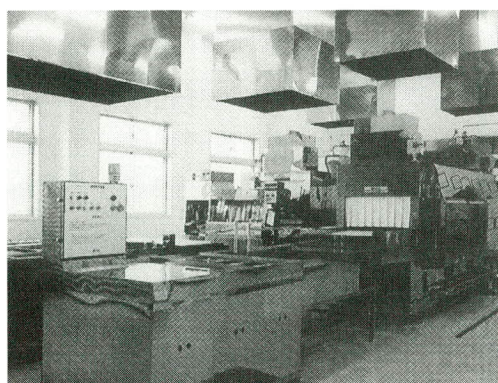
給食センターが竣工

平成11年度から事業を進めていた麻生町立学校給食センターが今年の3月に完成し、8月29日に関係者多数出席のもと、竣工式が挙行されました。

改築工事にあたっては、麻生町では初めての一般競争入札を採用しました。新しい給食センターは、ドライシステムを採用した近代的かつ衛生的な施設で、1日2,000人の児童・生徒・園児に対応できるよう建設しました。また、昨年からの地元産コシヒカリ100%米飯を取り入れるなど、おいしい給食を目指して工夫を重ねています。



調理室



残菜回収・洗浄室

【麻生町立学校給食センターの概要】

敷地面積：4,717.24㎡

延床面積

本 体：795.60㎡（建築面積810.55㎡）

ボンベ庫：3.00㎡

ブロー室：6.80㎡

車 庫：84.48㎡（既設建物）

調理能力：2,000食／日

調理方式：ドライシステム方式

総事業費：415,233,000円（平成11年度～13年度）

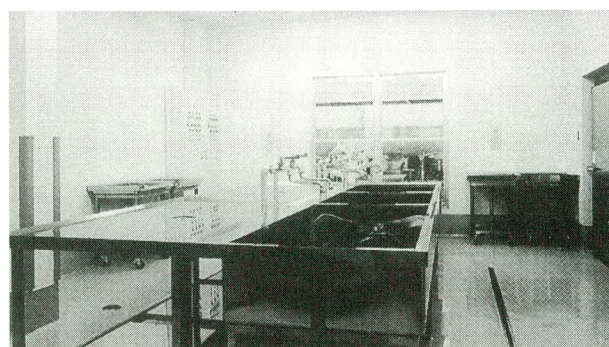
地質調査費： 798,000円

基本設計費： 4,410,000円

実施設計費： 9,975,000円

建築工事費：395,850,000円

設計監理費： 4,200,000円



下処理室

天王崎が「遊泳可」に

泳げる霞ヶ浦を目指す（社）霞ヶ浦市民協会は昨年に引き続き、霞ヶ浦の旧遊泳場など14地点で水質調査を実施し、このほど調査結果が発表になりました。14地点のうち5地点（一ノ瀬川河口、歩崎、天王崎、巴川河口、大岩田）で海水浴場などに使われる環境省の水質判定基準をクリアした「遊泳可」となりました。しかし、いずれも個人の責任で遊泳できるCランクで、かろうじて泳げる程度です。

環境基準はふん便性大腸菌や油膜の有無、COD（化学的酸素要求量）、透明度の4項目です。

調査日：7月18日、天候：晴れ、水位：YP0.9m

項 目	単 位	天王崎
時刻		13:20
水の色		淡緑
岸からの距離	m	80
水深	cm	150
底質		砂
水温	℃	30
透明度	cm	80
溶存酸素	mg/l	8.62
電気伝導度	ms/cm	0.42
PH		8.5
油膜の有無		なし
COD	mg/l	7.87
ふん便性大腸菌群数	/100ml	22
水質区分		C
遊泳の適否		可

（資料：霞ヶ浦市民協会）



自然がよみがえっています（西浦の白鳥とアサザ）

霞ヶ浦水質浄化振興財団より表彰

～ 麻生小学校 ～

麻生小学校が取り組んでいる『霞ヶ浦及び流域河川水質浄化活動研究並びに環境保護活動研究』が霞ヶ浦水質浄化推進振興財団より認められ、このほど財団の10周年記念式典において表彰されました。

1年間を通した、アユクラブ（今年度よりアユプロジェクト）の実践、学校ビオトープ作りの実践、竹炭焼き体験等の活動を、同校の奥村忠先生がまとめあげました。

『この取り組みを通して、最近、子供たちが霞ヶ浦の水質浄化、特に家庭から出る雑排水に大変興味を持つようになりました。机上では学べない部分を、子供たちは理解し、肌で感じ、積極的に取り組んでいます。問題解決学習による総合学習の成果では。』と奥村先生は熱心に語ってくれました。

霞ヶ浦湖上実践セミナーが開催

霞ヶ浦の水環境のことを考える、霞ヶ浦湖上実践セミナーが8月2日、土浦港で開催され、麻生小学校アユプロジェクトの児童たちが参加しました。湖上で水質検査やプランクトンの観察が行われ、下船後、一緒にセミナーに参加した美浦村の児童たちと、霞ヶ浦について討論会が行われました。その後、インフォメーションセンターや土浦ビオパークなどの見学をしました。参加した児童たちからは、「霞ヶ浦で泳いでみたい。」「水がきれいで魚がいっぱいいる湖にしたい。」などの感想がでました。

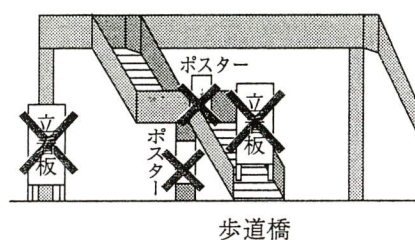
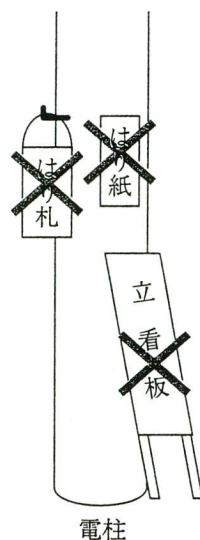
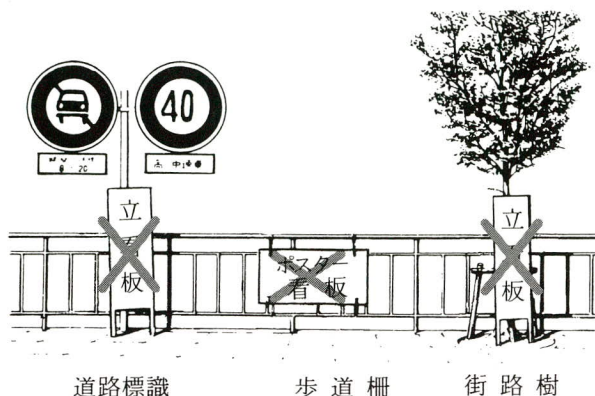


湖上で水質検査を実施

屋外広告物は許可を受けて！

～美しいまちづくりのために～

- まちの美観を守るため、屋外広告物を掲出するときは、市町村長の許可が必要です。
 - 禁止された地域や物件への違法な掲出はやめましょう。
 - 屋外広告物については企画財政課へご相談ください。
- ☎72-0811（内線328）



犬の登録と狂犬病予防注射を実施します

犬の登録と狂犬病予防注射を6月に実施したところですが、まだお済みでない方のために、下記日程で再度実施します。予防接種を受けていない飼い主の方は必ず狂犬病の予防接種を受けてください。なお、行方不明・死亡の場合は役場環境対策課まで連絡ください。

期 日	場 所	時 間
9月30日 (日)	太 田 分 館	9:30～10:20
	大 和 分 館	10:30～11:30
	西浦学習センター	13:00～13:40
	小 高 分 館	14:00～14:40
	麻 生 町 公 民 館	15:00～16:00

◆持参するもの

- 1.手数料 3,300円（注射手数料 2,950円）
（注射済票交付手数料 350円）
- 2.通知のハガキ
- 3.新規登録は手数料のほか登録手数料2,000円が必要です。

◆問合先 環境対策課 ☎72-0811（内線310）

犬の定期回収日を変更します

犬・猫の引き取りを毎週水曜日実施していますが、10月より変更になりますのでよろしくお願いします。

●10月10日より隔週水曜日 10:40～10:50
（10/10、24、11/7、21、12/5、19）
麻生町保健センター前

問合先 県動物指導センター ☎0296-72-1200

***飼い犬が人にガみつく事故が多発しています。犬の放し飼いは、県条例で禁止されています。必ず、つないで飼いましょう。**

年金相談110番

社会保険労務士が年金のあらゆる相談に電話で応じます。プライバシーは厳守します。

日 時：10月5日、12日、19日、26日
10時から15時まで

電話番号：029-233-2755

茨城県社会保険労務士会

がんときくと、怖い病気というイメージがつきものです。しかし、検診の普及・医療技術の進歩により、早期発見し適切な治療を受ければ、ほぼ完治できるようになってきました。

日本では「男性40代、女性30代はがん年齢」といわれているように、がんは男性では40代、女性では30代以降に増加します。

がんによる死亡率を見てみると、男性では喫煙や欧米型の食習慣の定着といった理由から、肺がんや大腸がんが増えてきており、肺がんは死因の第1位になっています。

一方女性では、胃がん、大腸がん、肺がん、肝臓がんの順となっており、近年は乳がんが増加の傾向をしめしています。乳がんは、欧米では女性に一番多いがんで、食生活の欧米化などの影響により今後、日本でもさらに増加すると考えられています。

最近の町の傾向

下記の資料は、平成12年にがんで亡くなられた方の年代別・男女別の状況です。（麻生町）

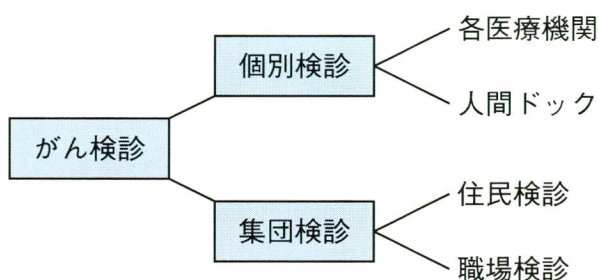
この資料を見ると、必ずしも国の傾向と一致してはいませんが、男性では肺がん、女性では胃がんが1位になっている点は同じようです。また、60代

で亡くなる方が意外と多いことにも気づきましたか？

人生80年時代。いくつになったからもういい、ということは決してありませんが、50代60代では少し早いような気がします。

前述したように、がんは早期に発見し治療すれば、ほぼ完治できるようになってきました。早期発見するためには、何が考えられるのでしょうか。やはり早期発見には検診が不可欠のようです。

がんはある日突然発生する訳ではありません。がんの多くは、無症状で進行し、明らかな自覚症状が出たときには、手遅れというケースがほとんどです。「どこもなんともないから・・・」ではなく、まず検診を受けましょう。



検診も様々な場所・方法で受けることができます。ライフスタイルにあった方法で、自分と家族のために足を運んでみてください。

平成12年度 癌の内訳（年代別・男女別状況）

	50 代		60 代		70 代		80 代		90 代		計		合 計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
胃			1	1	4	2		4			5	7	12
肺			2		2		3				7		7
腸			3	1							3	1	4
胆 嚢 胆 管				1	2	1	1				3	2	5
肝 臓			1		2	1					3	1	4
膵 臓			1	2				1			1	3	4
前 立 腺					1				2		3		3
膀 胱							1				1		1
食 道					1						1		1
肛 門						1						1	1
子 宮 ・ 乳				2				1		1		4	4
そ の 他	1							1			1	1	2
計	1		8	7	12	5	5	7	2	1	28	20	48

平成13年事業所・企業統計調査にご協力ください

10月1日、全国一斉に事業所・企業統計調査が行われます。この調査は、国や都道府県・市区町村が、これからの行政を考えていくための資料となるものです。9月中旬から調査員が各事業所に伺いますので、ご協力をお願いします。

2002年県民手帳 申込み受付中！

★ポケット版〈1冊〉 350円

(大きさ8cm×12.5cm)

★大型版〈1冊〉 500円

(大きさ9cm×14.5cm)

購入希望の方は、現金を添えて、役場企画財政課まで申し込んでください。

申込み締切 10月5日(金)

問合せ先 企画財政課

☎72-0811(内線329)

茨城県土木事務所から のお知らせ

茨城県では、道路利用者に安全に道路を利用していただくため、道路パトロールや維持補修を実施していますが、道路の破損情報について、さらに多くの情報を得るため、住民のみなさんに通報のご協力をお願いいたします。3ヶ所の国道や県道の破損を発見したら、当事務所までご連絡ください。

連絡先

茨城県潮来土木事務所

☎0299-62-3724

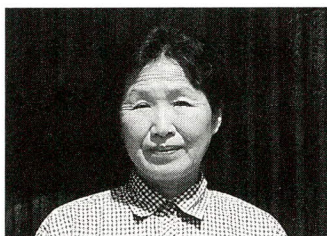
秋の行政相談週間 10月15日(月)～21日(日)

「行政相談」の制度を多くの人に知っていただき、利用していただくために、10月15日～21日までを行政相談週間として、全国各地で行政相談所が開設されます。麻生町では、行政相談委員が下記のとおり行政相談所を開設します。相談は、無料・秘密厳守ですので、お気軽にご利用ください。

日時 10月18日(木)

13:00～15:00

場所 麻生町公民館第1集会室



行政相談委員の石川直枝さん

(根小屋222-1 ☎73-3190)

表紙によせて



9月5日、行方小学校の5年生により稲刈りが行われました。

同校の総合的学習の中で、米作りの体験をとおして、農業問題や米文化のすばらしさを勉強しようというものです。

この田は、同校近くの大久保善弘さんのご好意によるものです。



※掲載を希望しない方は、役場総務課にご連絡ください。

おめでとうございます

赤ちゃん	保護者	住所
小沼 奈央	進 治	粗 毛
高木 未咲	俊 和	麻 生
岡里 愛	祐 二	矢 幡
宮内 優璃	光 一	小 牧
藤崎 陽大	泰 司	新 宮
高崎 由花	恵 助	天 掛
鴨下 綾乃	俊 樹	行 方
椎名 愛菜	和 彦	五町田
高栖 香乃	英 之	島 並
高田あゆみ	薫	小 高

おくやみ申し上げます

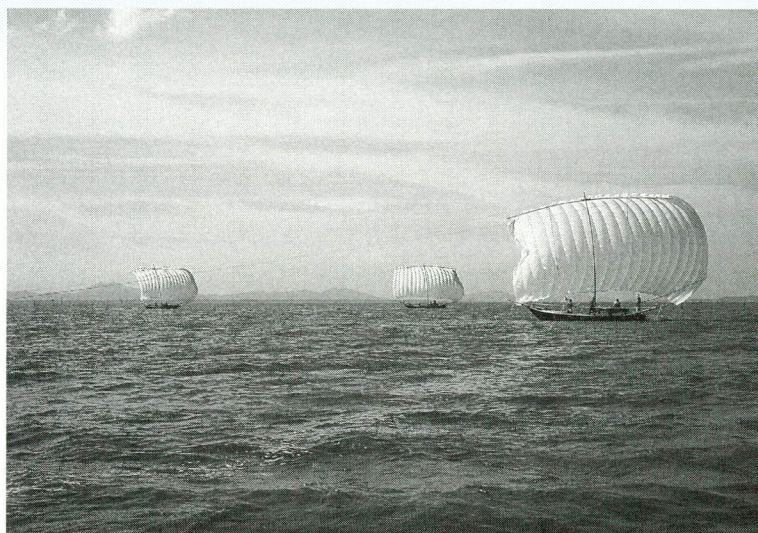
亡くなった方	年齢	世帯主	住所
橋本 富巨	87	康 勝	粗 毛
桜井 剛雄	69	富美子	麻 生
内山 なを	79	清 市	麻 生
兼平 愛子	90	寿 郎	麻 生
茂木 末雄	88	弘 志	麻 生
村田 つよ	96	節 子	麻 生
槇田 互	79	顕 二	麻 生
宮野 四郎	83	徳次郎	麻 生
羽生 仁助	80	孝	青 沼
小林 重雄	80	重 勝	青 沼
小沼 なみ	77	徳 次	於 下
宮野 節子	69	節 子	於 下
宮本 コウ	86	壮 一	島 並
大野 新一	74	新 一	南

(氏名は新字で表示しています)

町長へのメールをお待ちしています

メールアドレス：
asotown@sopia.or.jp

まちの風景



霞ヶ浦の風物詩（全日写連麻生支部 羽生郁夫さん）

麻生町では「水辺の賑わい」をとりもどすため3艘の帆曳船を復活しました。筑波嶺を背景に霞ヶ浦の風物詩復活です。民間団体の水質調査によると、今年は、天王崎が遊泳可と判定されました。

まちの人口 16,506人（男8,159人 女8,347人） 4,408世帯

まちの花：キク まちの木：イチヨウ まちの鳥：ヒバリ



●広報 あそう 第562号 平成13年9月17日発行

●ホームページアドレス <http://www.sopia.or.jp/asotown/> ●町長へのメール asotown@sopia.or.jp

●発行 麻生町役場 ●編集 総務課 茨城県行方郡麻生町麻生1561-9 ☎0299 (72) 0811